

第3号議案

令和4年度事業計画（案）

1 骨子

当推進会議は、平成17年に産学官が一体となり、本県進出の大手企業と地場企業が共に発展する「おおいたLSIクラスター」の形成を目指し設立され、世界市場の中で闘えるクラスターを目指し、研究開発や人材育成、販路開拓、情報提供、会員交流に取り組んできました。

平成20年には、企画委員会を設置、地場企業が主体的に活動する事業形態に変革していくことで、自立して行動できる企業が多く育ち、更にはその中から技術を磨き、事業を拡大し、研究開発助成や海外展開支援を通して新市場へチャレンジする企業も出てきました。平成27年からは活動成果をふまえ、LSIクラスターの新たな事業運営・方向性として、「幅広い情報の収集」「新たなネットワークの構築」「新分野への活動展開」を重点的に取り組んでまいりました。

昨年度は、長期にわたる新型コロナウイルスの影響により、業界間での経済市況二極化や働き方改革等、企業を取り巻く環境は大きく変化しました。

そのような中であって、世界半導体市場は5G時代の到来、ビッグデータ、IoT、AI、自動運転、DX、データセンター等とデジタル社会を支える重要基盤として大きく伸長し、継続して拡大していくものと想定されております。一方で、大国間対立やコロナ禍における不安定な工場稼働、材料不足等によるサプライチェーンの分断において、半導体不足が叫ばれ、半導体生産そのものが経済安全保障にかかわるものとなりました。その対策として、各国は半導体投資を支援し、日本政府も同様に6月「半導体・デジタル産業戦略」を発表、具体的には九州においても海外企業立地を決定し、シリコンアイランド九州再興に向け、大きな変革時期をむかえております。

このような背景のもと、当クラスターが成長発展していくためには、推進される政府施策を敏速にキャッチアップし、九州圏内の各団体との連携強化や異業種との交流を図りながら、これまで培った技術・人材・ネットワークを活用し、新たな事業分野への挑戦・ビジネスチャンスの拡大を進めていくことが必須と考えます。この変化を最大のチャンスと捉え、今後の活動を見据え、スローガン・ビジョンを作成しました。

おおいたLSIクラスターは、3つの専門部会の連携を強化し、多様な情報収集・活動を行うことで効率的・効果的な事業運営に努めます。

新スローガン「未来を拓く 産業モデルの創出 ～想いをカタチに 共感で広げる～」のもと、大分の企業がグローバルな競争力・活動力を身につけ、産学官連携を強化し、不確実性の高い時代に強い経営者をつくり、九州・大分での地域間活動を力強く推進してまいります。

2 専門部会活動方針

イノベーション部会

新技術の創出に資する有望な研究開発テーマの掘り起こしを進めるとともに、新事業にチャレンジする企業を支援していく。

半導体関連技術を基に新分野・成長分野への事業展開を目指し、有識者セミナー等を開催し、企業革新を計れる（変革を図れる）人材の育成を推進してまいります。

九州で進められる「九州半導体人材育成等コンソーシアム」の一翼を担うべく、産学連携をより強くし半導体関連人材を育成する。

マーケティング部会

会員企業のグローバルビジネスへの参入を支援する。海外企業との商談会を開催し、販路開拓を進めていく。

国内世界規模の展示会に出展し、会員企業の技術や製品を広くPRすることで新たな販路を開拓する。

国内外の大手企業のニーズ調査を行い、会員企業との技術マッチングを推進することで会員企業の販路開拓を支援する。会員企業間協業や異業種分野連携により、モノコトづくりを進めていく。

ネットワーク部会

不確実性の高い時代に強い経営者づくりのために、トップレベルの情報提供を強化し、ネットワークづくりを推進する。会員同士の交流や国内外の同業・異業種企業・団体との交流、人材確保につながるべく産学の交流等を推進する。

3 事業内容

(1) 理事会・専門部会等の開催

「おおいたLSIクラスター」の事業計画等を協議・推進するため、理事会、企画委員会、審査会、専門部会、連絡協議会を開催する。

- ①理事会（年度始め、年度末に開催）
- ②企画委員会（年5回程度開催）
- ③審査会（必要に応じ開催）
- ④専門部会（必要に応じ開催）
- ⑤連絡協議会（必要に応じ開催）

(2) 総会・フォーラムの開催

①総会

「おおいたLSIクラスター」の取組みを、推進会議の会員や県内外に広く周知するために、総会を開催する。

②フォーラム

最新の半導体技術や産業動向等の情報収集の場として、フォーラムを開催する。

特に、世界市場に向けた企業の海外戦略や研究開発等のアライアンスの取組み等について、先進事例を紹介する。

(3) イノベーション事業の実施

①補助金の交付

半導体関連技術を基にした新分野・新技術に関する研究開発及び会員にとっての新規事業への取組や新規事業アイデアに対して補助金を交付する。これらは、成果報告会を通じて、研究テーマや新規事業への取組に対するアドバイスやサポートを実施し、事業化に向けた支援を強化する。

また、産学連携による研究活動への取組に対して補助金を交付する。

②セミナーの開催

半導体関連技術を基に新分野・成長分野への新事業展開を目指し、情報提供するために技術者塾や新事業創出セミナー等を開催する。

③学との連携・広域連携

企業課題に対して、産学連携による研究活動に取組、新たなシーズの創出を図る。

半導体人材育成を目的に、県内学生による会員企業見学会を継続し、あわせて半導体教育を実施する。

④半導体技術者基礎講座

新任技術者等を対象にした半導体基礎講座を継続して実施する。

(4) マーケティング事業の実施

①海外ビジネス交流

台湾電子設備協会との交流に加えてその他の諸団体との交流を進め幅広い事業分野での台湾商談会をオンラインまたはリアルで開催する。

中国市場へのアクセス拡大に向けて、台湾企業との関係構築のほかに県内留学生の現地ネットワーク等と連携し中国諸団体とのビジネス交流を進める。その他アジア地域へのビジネスチャンス进行调查する。

②展示会出展

セミコンジャパン、ネプコンジャパンに九州圏内団体と連携して、九州パビリオンとして継続出展し、会員のビジネスチャンス拡大を支援する。また、会員企業の技術や製品を広くPRするとともに、「おおいたLSIクラスター」活動を紹介する。

③ビジネスマッチング

九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会ならびに地域間(企業)連携を促進、国内外の大手企業のニーズ調査を行い、会員企業との技術マッチングを推進することで会員企業の販路開拓を支援する。また、新規参入支援を拡充する。

会員企業の技術力を活かし、協業や異業種分野連携により、モノコトづくりを進めていく。

(5) ネットワーク事業の実施

①国内外経営トップ相互の交流

経営トップを対象に、半導体業界の最新動向や技術情報、新分野・成長分野への展開を目指し情報を提供するためセミナーを開催するとともに、国内外経営者相互の交流を図る。

②会員間及び産学官のネットワークづくり

県内他企業会や産学官各団体、九州圏内各団体との交流する場を提供し、市場動向や技術動向等に関する情報交換を行うとともに会員間のネットワークを形成する。

産学の交流においては、会員の人材確保につながるべく推進し、県工連との連携事業を継続拡大する。

『災害時における相互協力に関する合意書』を周知していくことで、会員の事業継続計画(BCP)活動を定着させ、あわせて会員間連携強化を図る。

③広域的な交流の推進

他地域クラスターや海外企業経営者などと広域的に交流し、会員企業の多様な技術活用やビジネス拡大、グローバル化等に結びつける。